

しょうわ つうしん

# Show-a 通信

2016.6  
第19号

北海道消化器科病院は消化器病分野の最先端治療で地域医療に貢献しています。

医療法人彰和会の「彰和 (Showa)」と明らかにするという意味の「Show」を合わせて、「Show-a通信」としました。  
私たちの仕事をお知らせすることで、消化器科領域の最新医療をお伝えします。

地域の皆様から信頼される  
緩和ケア病棟を目指して

緩和ケア内科  
外来・病棟部長

田巻 知宏

#### 快適性を追求した緩和ケア病棟

共用部分のデイルーム (43.94 m<sup>2</sup>) には、いすや電気暖炉を設置。照明設備は、サーカーディアン (体内) リズムに合わせた時間制御で調色・調光します。室温・風量は部屋ごとに24時間調整可能です。共用廊下には加湿設備や脱臭設備などを設置しています。

2016年5月16日  
緩和ケア病棟開設

## 地域の皆様から信頼される 緩和ケア病棟を目指して

緩和ケア病棟は全国的に絶対数が不足しています。札幌でも緩和ケア病棟への入院を希望しても利用できない患者さんが少なくありませんでした。そこで、当院では3階病棟をリニューアルし、14床の緩和ケア病棟を開設しました。



緩和ケア内科  
外来・病棟 部長 田巻 知宏

札幌医科大学医学部卒業  
札幌医科大学附属病院第1内科、市立室蘭総合病院第1内科、順天堂大学医学部消化器内科画像診断研究室、天使病院第2内科、東札幌病院緩和ケア科、救世軍ブース記念病院緩和ケア科、札幌南青洲病院緩和ケア科、北海道大学病院腫瘍センター緩和ケアチームを経て、2016年4月から北海道消化器科病院に勤務

### 【学会認定資格など】

日本緩和医療学会暫定指導医  
緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了  
がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会修了  
がんのリハビリテーション研修ワークショップ修了  
日本緩和医療学会評議員

### 病院にしかできない 充実した緩和ケアをチームで

当院ではこれまでも一般病棟で「緩和ケア」を提供してきましたが、専用の病棟を設置したことで、より充実した療養環境を提供できるようになりました。

病棟のコンセプトは「明るい」「静か」「あたたかい」。がん治療を終えた患者さんの苦痛を和らげ、これからの時間をできるだけ穏やかに、活動的に過ごせるよう支援することを目標にしています。

病室は24時間換気で、空気を常に清潔で快適な状態に保っています。ご家族とともにゆっくりくつろげるデイルームや、家族控室、キッチンなどの設備があり、病棟内には観葉植物や季節の花に加え、職員が持ち寄ったインテリア小物を飾っています。

音楽療法士による定期的な音楽療法を実施していくほか、鍼灸も取り入れていく予定です。

患者さんの身体の痛みや呼吸困難、精神的な苦痛などに対しては、専門的に対応します。生活の質を高める目的で鎮痛薬や医療用麻薬を使用し、看護師や看護助手、栄養士が患者さんとご家族の希望に添いながら、食事介助や入浴介助など、身体的・精神的ケアを行います。また、外出や外泊、在宅への円滑な移行も支援します。

### すぐに入院できる 緩和ケア病棟が地域に必要

入棟を希望される患者さんの依頼資料がそろったら、翌日までに判定会議を行い、できるだけ早い入棟を目指します。

満床の場合は、まず当院の一般病棟に入ってください。ベッドが空くのを待ちながら緩和ケアを開始するなど、臨機応変な対応で「待たせない緩和ケア」の提供体制を整えたいと考えています。

# 地域連携による緩和ケア

当院の一般病棟、急性期病院・がん専門病院

外科的治療  
(手術)

放射線療法

化学療法  
(抗がん剤) など

在宅

当院の緩和ケア病棟

訪問看護

訪問介護

訪問  
リハビリ  
テーション

疼痛や呼吸困難、  
ご家族を含めた精神的な  
苦痛に対応

外出や外泊、  
在宅への円滑な  
移行

緩和ケア病棟では、これまでの主治医に加えて、  
緩和ケア担当医が患者さんを支援します

▼特浴室



▼病室の洗面台・トイレ



病室

緩和ケア病棟は

患者さんがその人らしく過ごせるように  
支援する専門病棟です

▲個室



電気暖炉

▼ダイニング



▼キッチン



14の個室と  
共用のくつろぎスペースが  
あります



▲廊下の飾り窓は楽譜をイメージして配置



▲家族控室

# 認定看護師が中心となり 質の高い緩和ケアを提供します

当院には、がん治療を支える4人の認定看護師がいます。その中の「緩和ケア認定看護師」と「がん性疼痛看護認定看護師」が緩和ケア病棟で患者さんとご家族に寄り添い、多くの職種と連携しながら支援します。



蛸子智美 病棟主任  
緩和ケア認定看護師

塚本修子 病棟師長  
緩和ケア認定看護師

医療連携相談室・大澤かほる  
がん性疼痛看護認定看護師

## 緩和ケア病棟

患者さんを癒し  
家族の介護疲れを癒す場として

緩和ケア認定看護師  
緩和ケア病棟師長 塚本修子

患者さん一人ひとりのこれまでの人生や今の気持ちを理解し、入院生活をその人らしく過ごせるように支援します。朝コーヒーを飲みたい方にはコーヒーを、新聞を読みたい方には新聞をお届けできるように、患者さんが何を望んでいるかを引き出し、また、心の変化のサインを常にキャッチできるように関わりたいと思っています。

緩和ケア病棟の設計段階で「病院のようにほしくない。くつろげる、ほっとできる雰囲気を作りたい」とお願いしました。患者さんがご家族とゆっくりくつろげる場、ご家族が介護疲れを癒す場としてもお役に立てるように病棟を整備しています。

## 緩和ケア病棟における 患者さんのスムーズな 受け入れの流れ

### 【対象となる患者さん】

急性期病院やがん専門病院などで積極的ながん治療を終えて、緩和ケア病棟への入院を希望している

1



医療機関担当者からの電話で受け付けいたします  
(代) 011-784-1811  
医療連携相談室

2



必要な資料をそろえ、当院の医療連携相談室へ郵送ください

※患者さんやご家族からの直接のお申し込みは受け付けておりません

3



資料が到着したら、すぐに緩和ケア病棟で判定会議を開きます  
その結果は、到着日か翌日に電話でご連絡いたします

指定日に当院へ入院ください

## 医療連携相談室

スムーズな地域連携のために  
外来受診を省きました

がん性疼痛看護認定看護師  
医療連携相談室 室長 大澤かほる

通常、緩和ケア病棟への入棟は、緩和ケア外来の受診・診察を済ませた後に、入棟判定になりますが、当院では「患者さんを待たせない緩和ケアの提供」を実現するため、依頼の資料がそろったら、その当日か翌日に緩和ケア医と病棟看護師長、医療連携相談室とで判定会議を開き、その結果をすぐにお知らせします。緩和ケア外来を予約する必要はありません。

14床という限られたベッドでの運用ですが、地域医療の充実を目指し、地域の医療機関や在宅支援機関と連携を強化しながら、患者さんにとってもつとも必要な時期に待たせずにご利用いただけるよう努めたいと思います。



医療法人 影和会  
HGH 北海道消化器科病院

消化器内科、腫瘍内科、内科、消化器外科、外科、肛門外科、  
緩和ケア内科、放射線科、麻酔科、病理診断科

□設立：1988年2月20日  
□住所：札幌市東区本町1条1丁目2番10号  
□電話：011-784-1811 □FAX：011-784-1838  
□ホームページ：http://www.hgh.or.jp/  
□病床数：211床